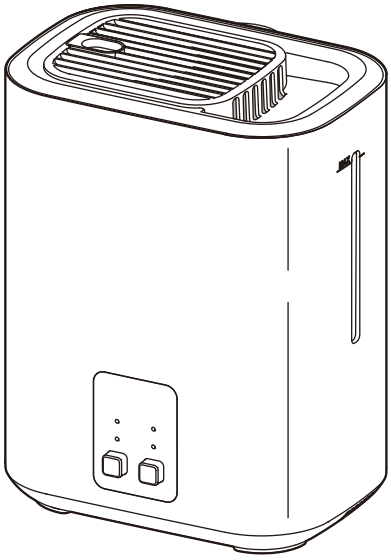
YAMAZEN

取扱説明書・保証書

●業務用として使用しないでください。
●他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

スチーム式加湿器
RKS-AA31



もくじ

▌安全上の注意……1〜4
▌各部の名称……5〜6
▌設置について……7
▌使用前の準備……8〜10
▌使用前に知っておいていただきたいこと…10
▌使いかた
　●電源プラグを家庭用コンセントに差し込む…11
　●運転する……11
　●給水ランプが点灯したときは……12
　●アロマオイルを使用する……12
　●使用後は……13
▌お手入れと保管……14〜19
▌仕様……19
▌故障かな?と思ったら……20
▌点検のお願い……21
▌アフターサービスについて……21
▌MEMO……22
▌保証書……裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

●このたびは、弊社加湿器をお買上げいただき、誠にありがとうございました。
●使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
●読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOK を チェック!
随時情報を更新中!

安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


◯記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。


❗記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。

⚠ 警告

■ 電源コード・電源プラグについて

電源プラグは、根元まで確実に真っ直ぐ差し込む
指示に従う
- ●発熱・感電・火災の原因になります。
- ◎斜めに差し込まない。

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、電源プラグの差し込みがゆるいときは、使用しない
禁止
- ●ショート・感電・火災の原因になります。

本体、電源コード、電源プラグに破損、故障、異常があったり、異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する
指示に従う
- ●やけど・感電・火災の原因になります。
- ※故障・異常例
  21ページの「点検のお願い　こんな症状はありませんか?」を参照して異常があるときは、直ちに使用を中止する。必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店に点検や修理を依頼してください。

電源コードの上に、本体や物を載せたり、挟み込まない
禁止
- ●ショート・感電・火災の原因になります。

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
プラグを抜く
- ●感電・漏電火災の原因になります。

家庭用コンセント（AC100V）以外で使用したり、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない
禁止
- ●家庭用コンセント（AC100V）以外で使用すると、誤作動・故障の原因になります。
- ●コンセントや配線器具の定格を超える使いかた（タコ足配線など）をすると、異常発熱・火災の原因になります。

定期的に電源プラグのホコリをふき取る
指示に従う
- ●ホコリがたまると、湿気によって絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。
- ◎ホコリは、乾いたふきんでふき取る。

電源コードや電源プラグを傷付けたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、巻き付けたり、たばねて使用しない
禁止
- ●ショート・感電・火災の原因になります。
- ◎必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。

電源コードを引っ掛けないように注意する
指示に従う
- ●転倒や落下して、故障・けが・やけどの原因になります。

⚠警告

■ 設置について

禁止

可燃性ガスや引火性の物（ガソリンやシンナーなど）がある場所に設置したり、スプレー缶（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を近くに置かない

●爆発・火災の原因になります。

指示に従う

安定した水平なテーブルや台の上に設置する

●転倒や落下して、故障・けが・やけどの原因になります。

◎傾いた場所や不安定な場所（段差がある場所や毛足の長いじゅうたんの上など）に設置しない。

禁止

電気製品や精密機器（パソコンなど）の近くに設置しない

●電気製品や精密機器が加湿によって湿気をおびて、ショート・感電・火災の原因になります。

◎電気製品、精密機器、電源プラグ、コンセントにスチームをあてない。

水ぬれ禁止

水がかかる場所や水にぬれた場所に設置しない

●ショート・感電・火災の原因になります。

■ 使用について

分解禁止

分解、修理、改造をしない

●やけど・感電・火災の原因になります。

※修理は、お買上げの販売店に依頼してください。

禁止

電源プラグ、すき間、開口部に、金属物や異物を付着させたり、入れない

●ショート・感電・火災の原因になります。

禁止

ふた、ダクト、水路ガイドを取り外したまま使用しない

●本体や設置場所がぬれる原因になります。

●熱により水タンクが変形して、規定以上の水が蒸発皿に流れ込み、水漏れ・感電・火災の原因になります。

接触禁止

使用中や使用後しばらくは、吹出口に手や顔を近づけたり、触れない

●やけどの原因になります。

◎とくに乳幼児には、触らせないように注意する。

禁止

子供や取扱いに不慣れな方だけで使用しない

乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない

●けが・やけど・感電の原因になります。

指示に従う

水タンクの水は、毎日新しく入れ替える

●カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、健康を害する原因になります。

禁止

アロマオイルは、アロマポット以外に付着させたり、入れない

●ひび割れ・破損・やけどの原因になります。

◎水タンクや蒸発皿にアロマオイルを付着させたり、入れると水タンクがひび割れたり、破損したり、熱湯がふきこぼれる原因になるので、注意する。

指示に従う

本体を持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてからおこなう

●ショート・やけど・感電の原因になります。

◎十分冷めるまで、持ち運ばない。

■ お手入れ・保管について

プラグを抜く

排水やお手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

●ショート・やけど・感電の原因になります。

◎電源プラグをコンセントに差し込んだまま、お手入れをしない。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差しない

●ショート・感電の原因になります。

⚠警告

■ お手入れ・保管について　つづき


水ぬれ禁止

本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない
●ショート・感電・火災の原因になります。


指示に従う

排水するときは、ふた、水タンク、ダクト、水路ガイド、水アカフィルターを取り外し、排水方向に従って排水する
●排水方向を間違えると、本体内部の電気部品に水が入り、ショート・感電・火災の原因になります。
◎操作部をぬらさないように注意する。


禁止

お手入れに薬品、塩素系、酸性タイプの洗浄剤を使用しない
●有毒ガスが発生して、健康を害する原因になります。


指示に従う

排水やお手入れのときは、十分冷めてからおこなう
●やけどの原因になります。


指示に従う

水アカフィルターを取扱うときは、十分冷めてからおこなう
●やけどの原因になります。


禁止

各種スプレー（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を吹き付けない
●本体内部にガスが滞留して、爆発・火災の原因になります。
●変色・破損の原因になります。


指示に従う

包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する
●誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして、窒息する原因になります。

⚠注意

■ 電源コード・電源プラグについて


指示に従う

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って、真っ直ぐ抜く
●ショート・感電・火災の原因になります。
◎電源コードを引っ張って抜かない。


禁止

電源コードを持って本体を引っ張らない
●設置場所が傷付いたり、本体が転倒して、ショート・やけど・感電・火災の原因になります。


指示に従う

電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源ボタンを「切」にしてからおこなう
●故障の原因になります。

■ 設置について


禁止

熱に弱い敷物（テーブルクロスなど）の上に設置しない
●変色・変形・火災の原因になります。


禁止

壁、天井、家具の近くに設置しない 棚の中に設置しない
●スチームにより壁、天井、家具を傷めたり、変色・変形の原因になります。
●ショート・感電・火災の原因になります。


禁止

湿度の高い場所（70%以上）に設置しない
●家具や床を湿らせたり、ぬらす原因になります。


禁止

直射日光があたる場所、火気や熱源（コンロや暖房器具）の近く、温度が高くなる場所に設置しない
●変色・変形・水漏れ・火災の原因になります。


禁止

油、油煙、金属粉が発生する場所（厨房や工場）やホコリの多い場所に設置しない
●変形・故障・感電・火災の原因になります。


禁止

屋外に設置しない
●ショート・感電・火災の原因になります。

⚠注意

■ 使用について

禁止

業務用に使用しない
- ●無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。

指示に従う

動物（犬や猫など）がいる部屋で使用するときは、十分注意する
- ●本体や電源コードを傷め、ショート・感電・火災の原因になります。

禁止

蒸発皿、水路、水槽に、水差しや水道で直接水を入れない
- ●水位が規定以上になり、スチームが出なくなったり、水タンクが変形したり、水漏れの原因になります。

禁止

水タンクの水位線または本体のMAX線以上水を入れない
- ●水タンクから水があふれ、水位が規定以上になりスチームが出なくなったり、水タンクが変形したり、水漏れの原因になります。

禁止

水タンクの取っ手を持って振り回さない
- ●取っ手が破損し、けがの原因になります。

指示に従う

使用しないときや凍結のおそれがあるときは、水タンク、蒸発皿、水路、水槽の水を排水しておく
- ●カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、水タンクが割れて、水漏れや故障の原因になります。

禁止

室内の加湿用途以外で使用しない
- ●やけど・感電の原因になります。

禁止

水タンクに水道水以外の物を入れない
- ●カビや雑菌が繁殖しやすくなって健康を害したり、破損・故障・ふきこぼれの原因になります。

◎下記の物は入れない。

- ▌ミネラルウォーター
- ▌アルカリイオン水
- ▌浄水器の水
- ▌井戸水
- ▌お湯（40℃以上）
- ▌汚れた水
- ▌化学薬品
- ▌除菌剤
- ▌芳香剤
- ▌アロマオイル

禁止

吹出口や通気穴をふさがない
- ●変形・故障の原因になります。

禁止

落としたり、強い衝撃を与えない
- ●破損・故障・けがの原因になります。

指示に従う

持ち運ぶときは、本体をしっかり持っておこなう
- ●破損・故障・けがの原因になります。

◎持ち運ぶときは、水タンクを取り外してからおこなう。

■ お手入れ・保管について

禁止

お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類は使用しない
- ●変色・傷・破損の原因になります。

◎お手入れは、14～19ページの「お手入れと保管」を参照する。

◎傷が付きやすい物やかたい物でお手入れをしない。

禁止

本体に腰かけたり、物を載せない
- ●破損・故障・けがの原因になります。

指示に従う

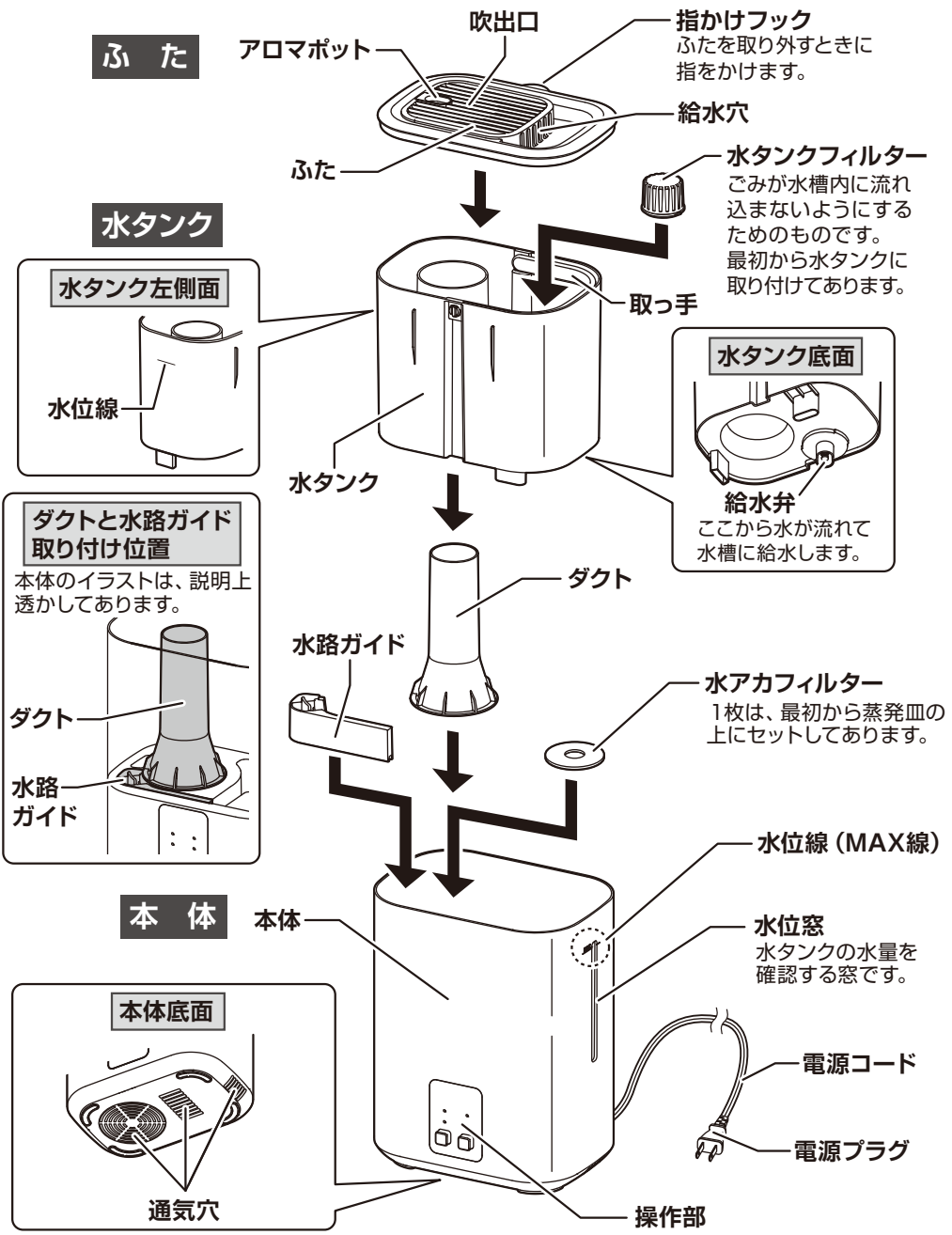
電源プラグの汚れは、乾いたやわらかいふきんでふき取る
- ●ショート・感電の原因になります。

◎ぬれたふきんでふかない。

指示に従う

お手入れは、こまめにおこなう
- ●水アカ汚れやカルキ汚れが付着したまま放置すると、加湿量が低下したり、加湿運転が途中で停止したり、水漏れの原因になります。

各部の名称

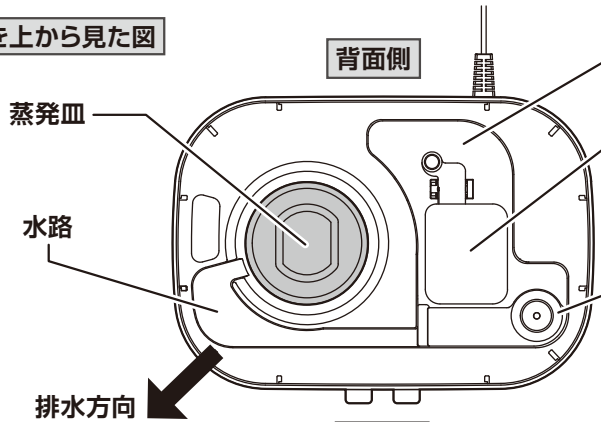


●本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

■ お知らせ **検査のために使用した水が製品に付着していることがありますが、品質やご使用上影響はありません。気になるときは、ゆすいだり、ふき取ってください。**

各部の名称

本体を上から見た図

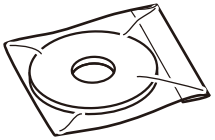


排水するときは、上図矢印側に本体を傾ける。
操作部をぬらさない。

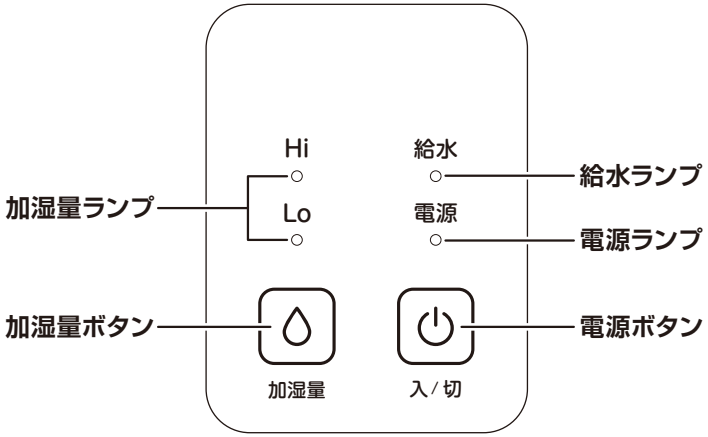
付属品

交換用水アカフィルター（1枚）

使用にともない、水道水に含まれているミネラル分やカルキが、水アカ汚れやカルキ汚れとなって蒸発皿や水路に付着します。
水アカフィルターで、ミネラル分やカルキを吸着することで、汚れの付着を軽減します。



操作部

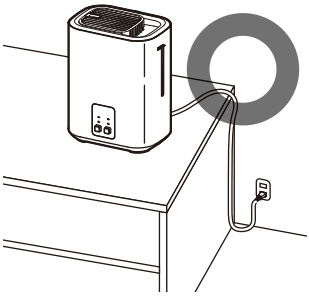


設置について

※設置するときは、下記に注意して設置してください。

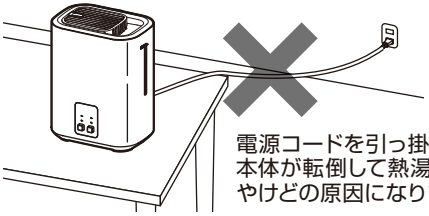
正しい設置場所

■ 吹出口から上方1m以内にスチームをさえぎる物がなく、壁や家具との距離が十分に確保できる、安定した水平なテーブルや台の上に設置します。



注 意：電源コードを引っ掛けないように注意する

●電源コードを浮かせたり、人が通る場所に這わせたりすると、電源コードを引っ掛ける原因になります。

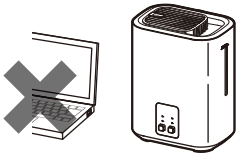


電源コードを引っ掛けると
本体が転倒して熱湯がこぼれ
やけどの原因になります。

こんな場所には設置しない

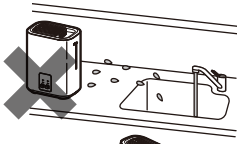
■ 電気製品や精密機器（パソコンなど）の近く

●電気製品や精密機器が加湿によって湿気をおびて、ショート・感電・火災の原因になります。



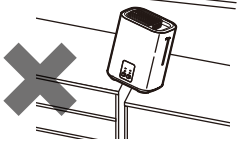
■ 水がかかる場所や水にぬれた場所

●ショート・感電・火災の原因になります。



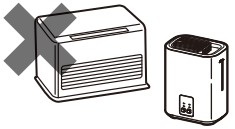
■ 傾いた場所や不安定な場所（段差がある場所や毛足の長いじゅうたんの上など）

●転倒や落下して、故障・けが・やけどの原因になります。



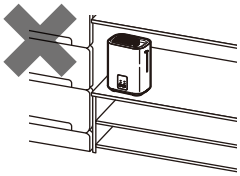
■ 直射日光があたる場所、火気や熱源（コンロや暖房器具）の近く、温度が高くなる場所

●変色・変形・水漏れ・火災の原因になります。



■ 壁、天井、家具の近くや棚の中

●スチームにより壁、天井、家具を傷めたり、変色・変形・ショート・感電・火災の原因になります。
※高級家具がある場所で使用するときは、とくに注意してください。



使用前の準備

必ずお守りください

※水を入れるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

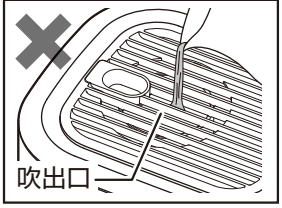
水タンクに水を入れる

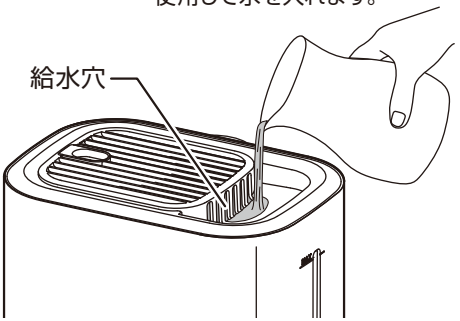
ふたの給水穴から水を入れる

●ふたの給水穴に、ゆっくりと水道水を入れます。

注ぎ口がある水差しを
使用して水を入れます。

吹出口に水を入れない。





⚠注 意

禁止

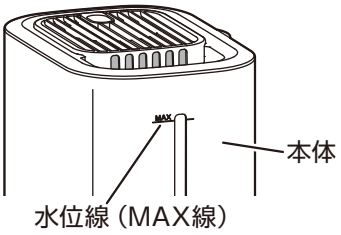
水タンクに水道水以外の物を入れない

●カビや雑菌が繁殖しやすくなって健康を害したり、破損・故障・ふきこぼれの原因になります。

◎下記の物は入れない

- ミネラルウォーター
- お湯（40℃以上）
- 化学薬品
- アルカリイオン水
- 汚れた水
- 除菌剤
- 浄水器の水
- 芳香剤
- 井戸水
- アロマオイル

MAX線以上水を入れない。



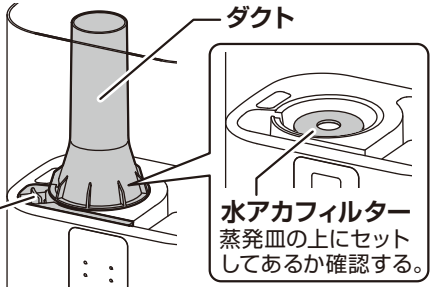
注 意

※水を入れる前にふたと水タンクを取り外し、ダクト、水路ガイド、水アカフィルターが取り付けられているか必ず確認してください。

※吹出口に水を入れないように注意してください。
規定以上の水が蒸発皿に入り、熱湯があふれて水タンクが変形したり、水漏れの原因になります。

ダクト、水路ガイド、水アカフィルター取り付け位置

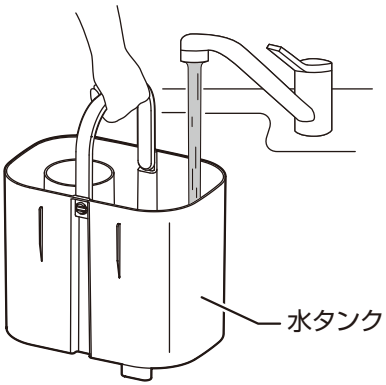
本体のイラストは、説明上透かしてあります。

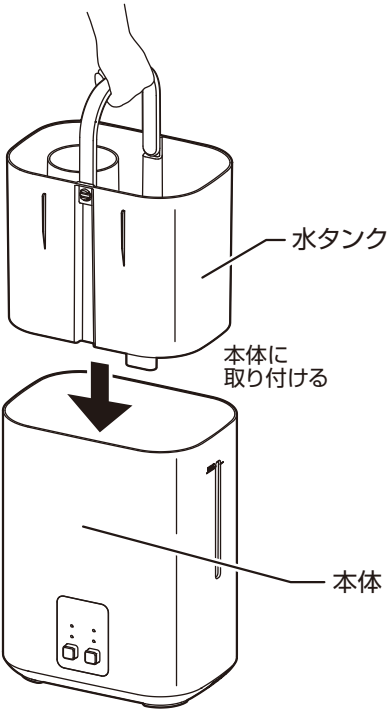


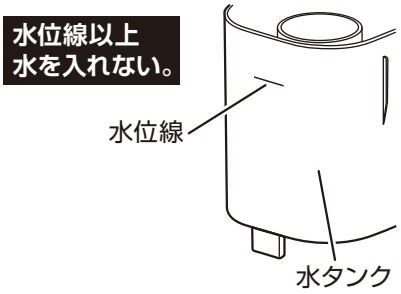
水タンクに水を入れる　つづき

水タンクを取り外して水を入れる

●水タンクを取り外して、水道から直接水を入れます。







注 意

※水タンクは、確実に取り付けてください。
浮き、傾きがあると水タンクから水が流れなくなり、給水ランプ（赤色）が点灯する原因になります。

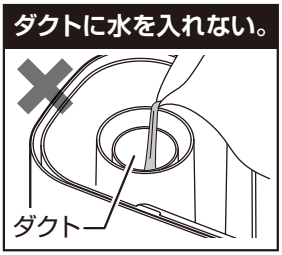
※水タンクを取り付けたあと、水タンクを何度も持ち上げたり、水の入った水タンクを取り付けたまま本体を持ち運ばないでください。
規定以上の水が蒸発皿に流れ込み、熱湯があふれて水タンクが変形したり、水漏れの原因になります。
本体を持ち運ぶときは、必ず水タンクを取り外してから持ち運んでください。
水タンクを再度取り付けるときは、蒸発皿や水槽に残っている水を排水してください。

使用前の準備

水タンクに水を入れる　つづき

水タンクを取り付けたまま水を入れる

●ふたを取り外して、水を入れることもできます。





注 意

※ダクトに水を入れないように注意してください。
規定以上の水が蒸発皿に入り、熱湯があふれて水タンクが変形したり、水漏れの原因になります。

使用前に知っておいていただきたいこと

必ずお守りください

スチームで加湿しています。
やけどをしないために、次のことを必ず守ってください。

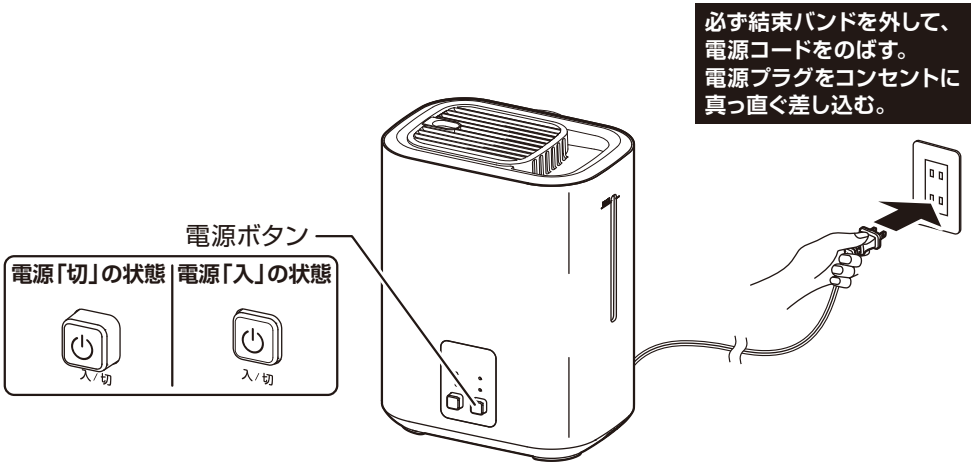
- **乳幼児の手の届く場所で使用しない。**
- **傾いた場所や不安定な場所で使用しない。**
- **使用中や使用後しばらくは、吹出口に手や顔を近づけない。**
- **スチームを吸入しない。（吸入器ではありません）**

スチームについてのお知らせ

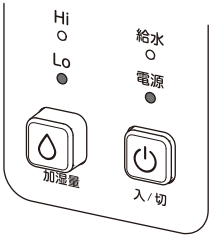
- ヒーターで水を加熱して沸騰させたスチームで加湿するため、スチームが発生するまでに多少の時間がかかります。
  また運転中は沸騰音がしますが、故障や異常ではありません。
- 使用環境（室温が高かったり、湿度が低いなど）によっては、スチームが空気中に気化しやすくなるため、使い始めや運転中にスチームが見えにくいことがあります。

電源プラグを家庭用コンセント（AC 100V）に差し込む

●電源ボタンが「切」になっているのを確認して、電源プラグを家庭用コンセントに根元まで確実に差し込みます。

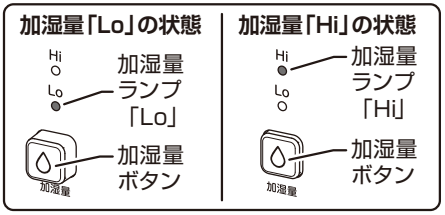


運転する



▌加湿量「Lo」で運転しているとき

●電源ボタンを押して「入」にすると、電源ランプと加湿量ランプ「Lo」が点灯して、加湿量「Lo」で運転を開始します。
●加湿量ボタンを押して、お好みに合わせて加湿量「Lo」または「Hi」で運転します。

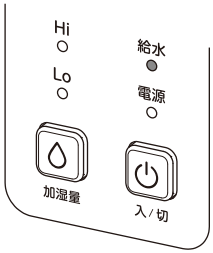


運転中は、吹出口に手や顔を近づけたり、触れない。

注 意

※運転中は吹出口に手や顔を近づけたり、触れたり、ふたを取り外さないでください。スチームに触れたり、ふたに付着した湯滴に触れて、やけどの原因になります。

給水ランプが点灯したときは



▌水槽の水位が規定以下になったとき給水ランプ以外のランプがすべて消灯します。

●運転中に水槽の水位が規定以下になると、給水ランプ（赤色）が点灯して運転が停止します。

運転を再開するとき

●水タンクに水を入れます。
●水槽に水がたまると、自動的に運転が再開します。

運転をやめるとき

●電源ボタンを押して「切」にします。
●給水ランプ（赤色）が消灯して、電源が切れます。

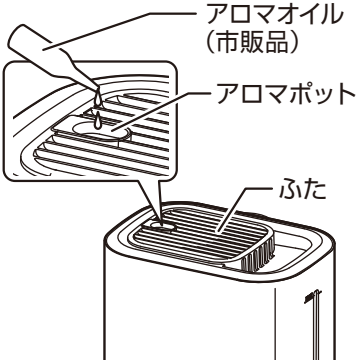
注 意

※十分冷めるまでは、吹出口に手や顔を近づけたり、触れたり、ふたを取り外さないでください。
スチームに触れたり、ふたに付着した湯滴に触れて、やけどの原因になります。

アロマオイルを使用する

●アロマオイルをアロマポットに1～2滴入れます。
※アロマオイルは、市販品をお買求めください。

水タンクや蒸発皿にアロマオイルを付着させたり、入れない。水タンクがひび割れたり、破損したり、熱湯がふきこぼれる原因になるので注意する。

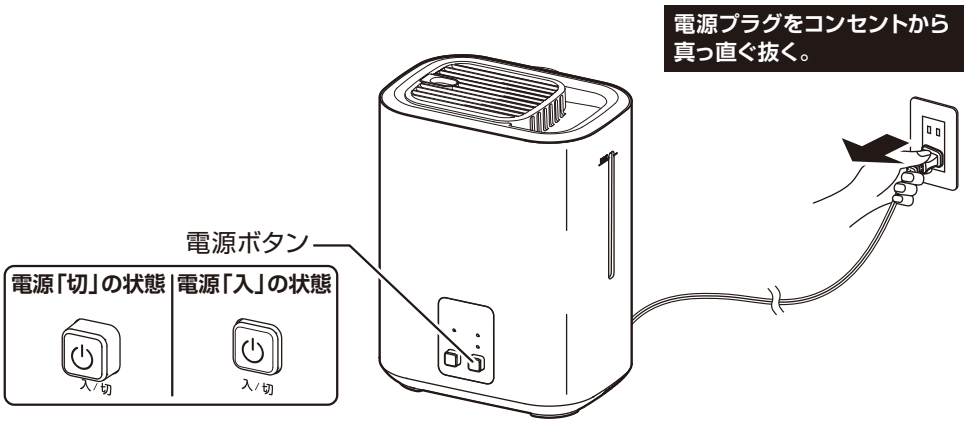


注 意

※アロマオイルの中には、通経作用のある物がありますので、妊娠中の方が使用するときは、とくに注意してください。
※アロマオイルを使用するときは、必ず使用するアロマオイルの取扱説明書や注意書きをよく読んでから使用してください。
※アロマポットに水滴が入って、アロマオイルの量がアロマポットの半分以上になったときは、一度アロマオイルを捨てて入れ直してください。

使用後は

●電源ボタンを「切」にしてから、電源プラグをコンセントから抜きます。
※電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
●水アカ汚れやカルキ汚れ固着防止のため、本体が十分冷めてから水タンク、蒸発皿、水路、水槽に残っている水を排水して、14〜19ページの「お手入れと保管」に従ってお手入れをします。



注 意

※蒸発皿に熱湯が残っていますので、十分冷めるまで本体を倒したり、傾けたりしないでください。
熱湯がこぼれ、やけどの原因になります。
※十分冷めるまでは、吹出口に手や顔を近づけたり、触れたり、ふたを取り外さないでください。
スチームに触れたり、ふたに付着した湯滴に触れて、やけどの原因になります。

水が凍結するおそれがあるときは

●水が凍結するおそれがあるときは、水タンク、蒸発皿、水路、水槽の水を排水しておきます。
※万一凍結したときは、暖房器具や熱湯で溶かしたりしないで、常温で自然に溶かしてください。

お手入れと保管

水アカ汚れやカルキ汚れを放置すると固着して取れなくなったり、蒸発皿に水が流れなくなって運転が途中で停止したり、水漏れ、カビ、雑菌の繁殖、異臭の原因になります。
※各部品を取り外して、必ずこまめにお手入れをしてください。
※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

⚠警告

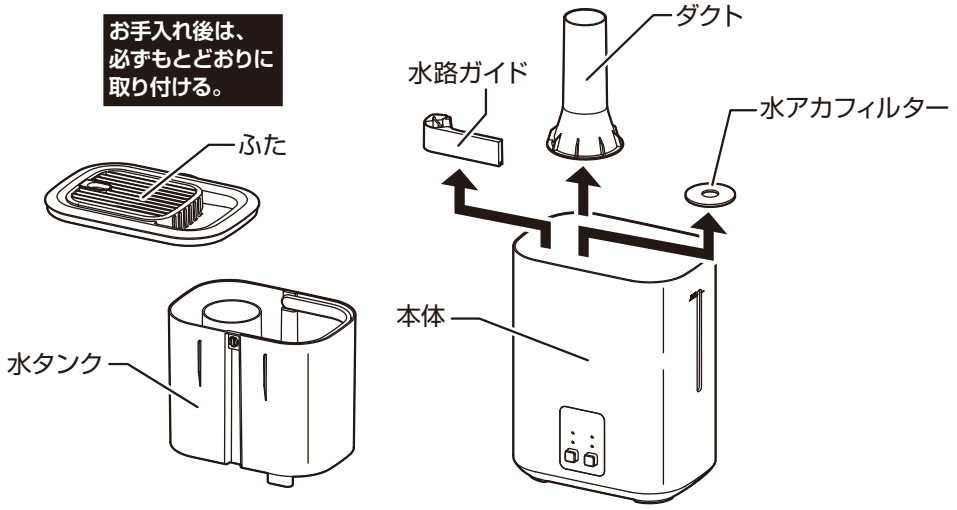
排水やお手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
プラグを抜く
●ショート・やけど・感電の原因になります。
◎電源プラグをコンセントに差し込んだまま、お手入れをしない。

お手入れに薬品、塩素系、酸性タイプの洗浄剤を使用しない
禁止
●有毒ガスが発生して、健康を害する原因になります。

必ずお守りください

※各部品を取り外したり、お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷めてからおこなってください。

■ お手入れをするときは、各部品を取り外します。



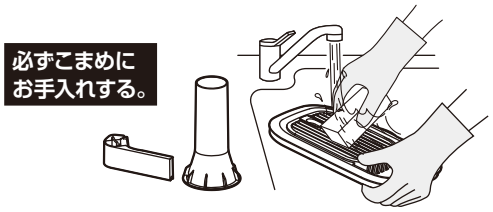
注 意

※水タンクを取り外すときや持ち運ぶときは、水タンク底面に付着した水滴が滴下して、衣服や床をぬらすおそれがありますので、注意してください。
※お手入れ後は、必ず各部品をもとどおりに取り付けてください。
とくにダクトや水路ガイドを外したまま運転すると、熱により水タンクが変形して、規定以上の水が蒸発皿に流れ込み、水漏れの原因になります。

お手入れと保管

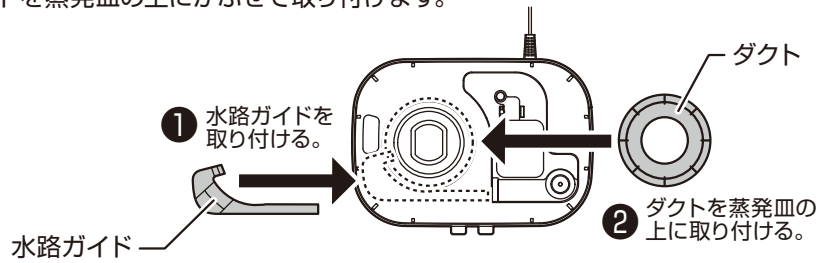
ふた、ダクト、水路ガイド（1週間に1回以上）　丸洗いできます

●食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
●洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



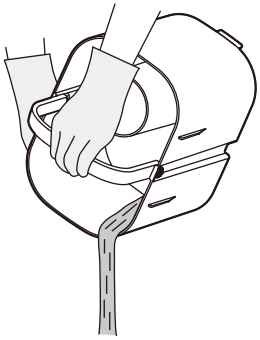
※お手入れ後は、下記の順番でダクトと水路ガイドを取り付けてください。

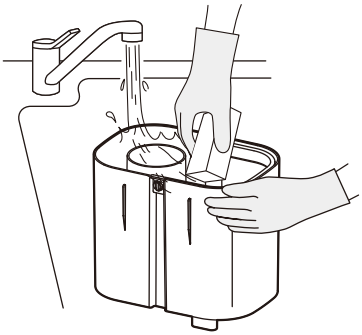
❶水路ガイドを水路に差し込んで取り付けます。
❷ダクトを蒸発皿の上にかぶせて取り付けます。



水タンク（毎回）　丸洗いできます

●水タンクに残っている水を排水します。
●食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
●洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



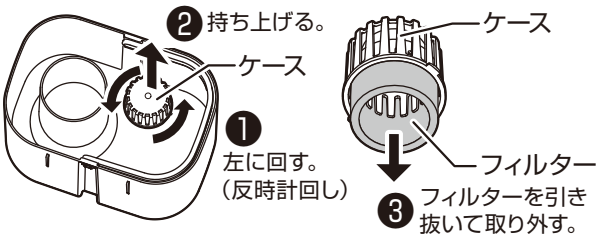


お手入れと保管

水タンクフィルター（1週間に1回以上）　丸洗いできます

水タンクフィルターの取り外しかた

❶ケースを止まるまで左に回します。
❷ケースを持ち上げて取り外します。
❸取り外したケースから、フィルターを引き抜いて取り外します。



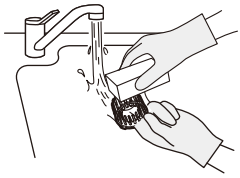
フィルターのお手入れ

●薄めた食器用中性洗剤にフィルターを浸して、軽くもみ洗いします。
●洗剤が残らないように水で洗い流して、よく乾燥させます。



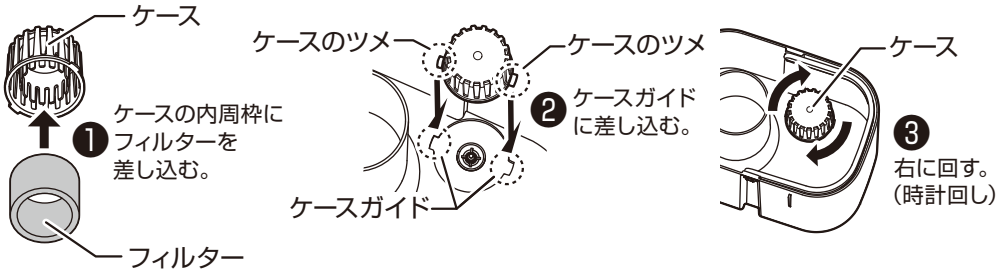
ケースのお手入れ

●食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
●洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



水タンクフィルターの取り付けかた

❶フィルターをケースに差し込んで取り付けます。
❷ケースのツメを、水タンクのケースガイドに合わせて差し込みます。
❸ケースを止まるまで右に回して、確実に取り付けます。
途中で一度止まりますが、さらに止まるまで回して固定します。



お手入れと保管

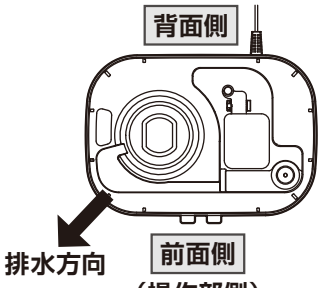
蒸発皿、水路、水槽（1週間に1回以上）
（蛇口から直接水を流し入れながらお手入れをしない）

丸洗いできません

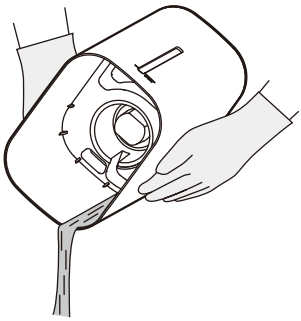
※蒸発皿や水路に水アカ汚れやカルキ汚れが固着する前に、必ずこまめにお手入れをしてください。

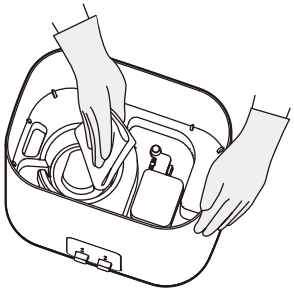
※水路に汚れがたまると、蒸発皿に水が流れなくなって運転が途中で停止する原因になりますので、必ずこまめにお手入れをしてください。

- 蒸発皿、水路、水槽に残っている水を、排水方向に傾けて排水します。
- 水に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼってふき取るか、やわらかいブラシを使用して汚れを落とします。
  さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。



排水するときは、上図矢印側に本体を傾ける。
操作部をぬらさない。





必ずこまめにお手入れする。

※とくに水路は、狭いため念入りにお手入れをしてください。

注 意

※蒸発皿は、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類の傷が付きやすい物やかたい物でこすらないでください。
蒸発皿の表面に傷が付き、故障・腐食の原因になります。

ワンポイントアドバイス

■ 蒸発皿の汚れがお手入れしてもきれいにならないときは

- 酢かレモン果汁 25mL またはクエン酸 6g を混ぜた水 1L を水タンクに入れます。
- 加湿量「Hi」で約15分運転し、本体が十分冷めてからお手入れをします。

※下記に十分注意してください。（蒸発皿の表面が傷む原因になります）

- 酢、レモン果汁、クエン酸の濃度を濃くしない。
- 15分以上運転しない。
- 酢、レモン果汁、クエン酸でのお手入れを頻繁にしない。

お手入れと保管

蒸発皿、水路、水槽（1週間に1回以上）　つづき
（蛇口から直接水を流し入れながらお手入れをしない）　**丸洗いできません**

蒸発皿や水路の汚れは必ずお手入れしてください。

※ヒーターで水を加熱して沸騰させたスチームで加湿しています。
水を沸騰させることで、水道水に含まれているミネラル分やカルキが、水アカ汚れやカルキ汚れとなって蒸発皿や水路に付着します。
汚れを放置すると固着して取れなくなり、加湿量が低下したり、内部の温度が上がって安全装置がはたらいたり、蒸発皿取り付け部が腐食して水漏れしたり、水が流れなくなって運転が途中で停止する原因になりますので、必ず1週間に1回以上こまめにお手入れをしてください。

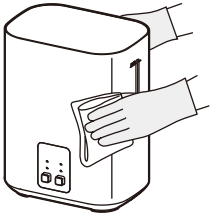
水アカフィルター（1週間に1回以上）　丸洗いできます

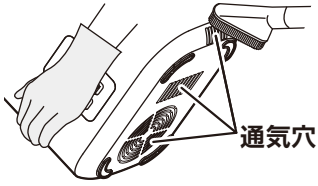
●水アカフィルターは、1週間（1日約13時間使用したとき）に1回以上は手もみ洗いをします。
よく乾かしてから軽くもみほぐして、水アカ汚れやカルキ汚れをはらい落とします。
●水アカフィルターは、消耗品です。
お手入れしても汚れが落ちなかったり、フィルター内部に汚れが残りかたくなったり、破れたときは交換します。
※水アカフィルターの購入については、21ページの「アフターサービスについて」を参照してください。



本　体（適 時）　丸洗いできません

●掃除機のソフトブラシで、通気穴のホコリを吸い取ります。
●乾いたやわらかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
●落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。
※操作部は、ぬれたふきんでふかないでください。





お手入れと保管

保　管

●保管の前は、必ずお手入れをします。
●お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
（湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります）

注 意

※電源コードの根元を曲げたり、電源コードを本体に巻き付けたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

仕　様

電　源	AC 100V （50-60Hz共用）
消費電力	270W
製品寸法（約）	幅：235mm×奥行：175mm×高さ：295mm
製品質量（約）	1.7kg
コード長（約）	1.5m
水タンク容量	3L
※加湿量（約）	「Lo」160mL/h　「Hi」360mL/h
※連続使用時間（約）	「Lo」18時間　「Hi」8時間
※適用床面積（約）	木造和室：6畳　プレハブ洋室：10畳　※「Hi」運転時
安全装置	給水ランプ（赤色）点灯時、ヒーターOFF （空だき防止機能）
	電流ヒューズ
	温度ヒューズ、サーモスタット （温度過昇防止装置）

●製品の仕様や外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
●製品寸法の奥行については、コードブッシュ（製品本体側の電源コード根元部）は含んでいません。

■ 加湿能力について（仕様欄の※印）
加湿量、連続使用時間、適用床面積につきましては、室温20℃・湿度40～60%の条件の基で測定した値を表示しています。製品の加湿能力は、部屋の温度・湿度、部屋の構造・材質、使用されている暖房機器などの影響で変化します。
使用される条件によっては、表示値に対して差異が生じることがあります。

■ 電気代について
1時間あたり 約8.4円　※「Hi」運転時
（電気代は、電気料金目安単価 31円/kWhを基に算出しています）

故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症　状	原　因	処置 または お知らせ
運転が途中で停止する	●給水ランプ（赤色）が点灯していませんか？	●水槽の水位が規定以下になると、給水ランプ（赤色）が点灯して給水をお知らせし、運転が停止します。 水タンクに水を入れて、運転を再開してください。
	●水路に水アカ汚れやカルキ汚れがたまっていませんか？	●水路に汚れがたまると、蒸発皿に水が流れなくなって運転が途中で停止する原因になります。 **必ずこまめにお手入れをしてください。**
スチームの出が悪い スチームが見えない	●室温が高かったり、湿度が低い環境ではありませんか？	●使用環境（室温が高かったり、湿度が低いなど）によっては、スチームが空気中に気化しやすくなるため、使い始めや運転中にスチームが見えにくいことがあります。
	●蒸発皿が汚れていませんか？	●蒸発皿のお手入れをしてください。
運転中に音がする	●沸騰音ではありませんか？	●水を沸騰させたスチームで加湿していますので、運転中は沸騰音がしますが、故障や異常ではありません。
スチームが臭う	●蒸発皿、水路、水槽が汚れていたり、水タンクの水を毎日入れ替えずに運転していませんか？	●カビや雑菌が繁殖して異臭がすることがありますので、蒸発皿、水路、水槽はこまめにお手入れをしてください。 水タンクの水は、毎日新しく入れ替えてください。
水漏れする	●ダクトや水路ガイドを外したまま運転していませんか？	●ダクトや水路ガイドを外したまま運転すると、熱により水タンクが変形して、規定以上の水が蒸発皿に流れ込み、水漏れの原因になります。 ダクトや水路ガイドを必ず取り付けて運転してください。

点検のお願い

**安全に長く愛用していただくために
日頃から点検をおこなってください。**

★こんな症状はありませんか？

- ●電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ●電源コードや電源プラグに深い傷や被覆破れがある。
- ●電源プラグが変形している。
- ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- ●水漏れする。
- ●変形や破損している。
- ●異常な音がする。
- ●製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- ●製品が異常に熱かったり、こげ臭いなどの異臭がする。
- ●その他の故障・異常・破損がある。

★異常があれば

使用中止 !!

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検や修理を依頼してください。

- ●電源プラグやコンセントにホコリやごみが付着している。 → ホコリやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

- **●本製品は、保証書が付いています。**
  お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。
- **●保証期間は、お買上げ日より1年です。**
  保証期間中の修理は、お買上げの販売店に依頼してください。
  保証書の記載内容により、修理いたします。
  その他詳細は、保証書を参照してください。

※ただし水アカフィルターは、消耗品ですので水アカフィルターの注文は、保証期間内でも有料とさせていただきます。

- **●保証期間経過後の修理（有料）については、お買上げの販売店に、依頼してください。**
- **●本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。**
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために、必要な部品です。
- **●消耗品（水アカフィルター）の購入については、お買上げの販売店か下記に記載の連絡先までお問い合わせください。**
  ダクトなどのサービスパーツについては、お買上げの販売店に、お問い合わせください。

■消耗品
品名：山善 スチーム式加湿器用
交換用 水アカフィルター（3枚入）
品番：VH25F-3P
※販売店で購入するときは、上記内容をお伝えいただきますようお願いいたします。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、右記へお問い合わせください。

「山善　家電お客様サービス係」
ナビダイヤル 0570-077-078
※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間：10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。
その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、お名前、電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

- ●FAXでのお問い合わせは フリーダイヤル 0120-680-287
- ●Eメールでのお問い合わせは info_m@yamazen.co.jp

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。

個人情報の取扱いについて
株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

MEMO